

第677回番組審議会報告

2023年4月4日開催

■出席委員

佐藤卓己委員長、栗栖義臣副委員長、川瀬慈委員、鯨岡秀紀委員、
小島幸保委員、津村記久子委員、増山実委員、安田真奈委員

■毎日放送出席者

虫明社長、宮田副社長、高山常務、酒井取締役、北野取締役、中野取締役、
田淵総合編成局長、柴田コンプライアンス局長、中西番組審議会事務局長

◆議題

1. 委員長・副委員長の選出

今年度の委員総数は前年通り8人。委員長に佐藤卓己委員、副委員長に栗栖義臣委員が選出された。

2. 報告事項

(1) テレビの4月改編の概要について、総合編成局長が報告した。

(2) 放送番組の種別の公表制度に基づき、2022年度下期6か月分の番組種別ごとの放送時間を総合編成局長が報告した。あわせて同期間のCM総量及び4月以降の基本番組表についても報告した。

◆議事の概要

2- (1) テレビの4月改編について

4月改編は、改編率は昨年4月が12.4%、昨秋13.8%に比べ19.4%と過去3年と比較して高い改編となっている。ゴールデン(19時~22時)では27.4%、プライム帯では30.7%。「news23」の後の深夜ゾーンで半年ぶりに自社制作を始め、月、火、水の3日間、若手ディレクターと制作以外の事業、報道、スポーツなどの若手スタッフが集まり芸人とともにコンテンツを作るバラエティー番組「あれみた?」をスタート。土曜日は午前6時から「TOKIO テラス」、6時30分からは地元関西のJ2を応援する「キックオフ関西」、7時から阪神戦と週末のエンタメ情報を発信する「グッジョブ」を編成しさらなる強化を図る。これらにより4月からの自社制作率は22年度下期から2.6ポイント上がって29.7%になる。全国ネットでは月曜日に「推しといつまでも」がスタート。

2- (2) 「放送番組の種別」の報告について

2022年度の下期は総放送時間が6万301分。報道番組1万1,973分（総放送時間の19.9%）、教育9,714分（同16.1%）、教養1万5,604分（同25.9%）、娯楽1万9,295分（同32.0%）、通販3,168分（同5.3%）、その他547分（同0.9%）。前年同期と比べて教養が増加し報道、教育、娯楽が減少している。また、この半期のCM放送実績は1万591分で、総放送時間に対する割合は17.6%。

以上